

【 救急・周産期専門部会 】

【開催状況】 平成31年2月13日(水) 18:30～

【協議事項等】

1 報告事項

(1) 救急医療の現状について

管内消防及び関係医療機関から提供のあった平成30年における重症重篤救急患者の搬送状況及び傷病・病態別割合データに基づき報告をし、救急医療の現状確認を行った。

① 管内7医療機関の受入状況(1月～12月)

	H29年	H30年	増減
救急患者数	32,717	32,469	-248 (-1.2%)
救急車搬入数	8,275	8,511	+236 (+2.9%)

② 医療機関別 H30(1月～12月)

	救急患者数		救急搬送患者数	
	全体	訪日外国人	全体	訪日外国人
日鋼記念病院	8,127	20	911	6
市立室蘭総合病院	4,895	20	1,895	12
製鉄記念室蘭病院	10,957	25	3,413	21
大川原脳神経外科病院	1,867	7	1,034	5
JCHO登別病院	746	139	199	13
伊達赤十字病院	4,769	13	836	4
洞爺協会病院	1,108	67	223	6

③ 傷病・病態別重症救急搬送件数

重症脳血管障害(248)、CPAOA(196)、急性心筋梗塞・心不全(171)の順

④ 救急車搬送先割合 50%以上の病態別搬送(各病院機能の特徴が現れた結果)

- 重症脳血管障害：市立室蘭総合病院(54.0%)
- 急性心筋梗塞・心不全：製鉄(90.0%)
- 急性動脈解離：製鉄(90.6%)
- 多発外傷：市立(100.0%)

⑤ 管外への搬送状況

計8例（東胆振2、札幌6） 特に問題なし。

救急車8例（転院搬送）

(2) 各消防本部における救急及び転院搬送状況等について

各消防本部から平成30年における救急及び転院搬送状況等について説明を行ってもらった。

・室蘭市消防本部

出動件数4,405件（+148（+3.4%））、転院搬送373（+28（+9.5%））

受入要請（1回決定 93.4%、4回以上2件）

・登別市消防本部

出動件数2,329件（+137（+6.3%））、転院搬送155（±0（0%））

受入要請（1回決定 91.0%、4回以上9件）

・西胆振行政事務組合消防本部

出動件数2,418件（+31（+1.3%））、転院搬送232（+35（15.0%））

受入要請（1回決定 83.4%、4回以上15件）

(3) 北海道胆振東部地震における患者の救急搬送状況等について

（平成31年9月6日～9日の各病院への搬送患者数等状況）

	救急搬送		救急車以外 （ ）内はうち入院患者
	西胆振圏域内	医療圏外	
日鋼記念病院	17	1	114（10）
市立室蘭総合病院	57	0	69（8）
製鉄記念室蘭病院	54	3	277（10）
大川原脳神経外科病院	5	0	1（1）
JCHO登別病院	3	0	3（0）
伊達赤十字病院	9	0	60（8）
洞爺協会病院	8	0	0（0）
豊浦国保病院	1	0	0（0）

*9月6日地震当日、室蘭太平洋病院の人工呼吸器使用患者について、DMAT等により市立室蘭総合病院18人、製鉄記念室蘭病院5人、日鋼記念病院2人の計25人の患者の転院搬送がありました。

(4) 周産期医療及び小児医療の現状について

管内産婦人科標榜病院から提供のあった平成30年における分娩件数、出生低体重児等のデータに基づき報告をし、周産期医療の現状確認を行った。

	日鋼	製鉄	日赤
分娩対応件数（1月～12）	471	458	109

※室蘭市内の分娩数は年々減少傾向にある。

小児医療については、管内小児科標榜病院から提供のあった平成30年における平日及び休日時間外及び入院患者のデータに基づき報告をし、小児医療の現状確認を行った。

	日鋼	製鉄	日赤
平日小児外来患者数（1日平均）	39.0	37.7	25.7
休日・時間外小児患者数（1日平均）	6.9	3.4	2.1
小児入院患者数（1日平均）	12.2	11.1	2.6
三次小児救急医療機関への転送（転院）患者数	2	0	0

(5) EMIS入力訓練及び西胆振災害医療対策会議の開催状況について

① EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練

災害時における各関係医療機関でのEMISの入力は非常に重要であることから、管内病院及び有床診療所を対象とした入力訓練を実施した。

- ・実施日時：平成30年7月18日（水）8：45～16：00
- ・参加対象：室蘭保健所管内（病院、有床診療所）
- ・災害想定：7月18日午前8時45分頃西胆振地方で大規模（震度6強）の地震発生（負傷者多数）

② 西胆振災害医療対策会議

9月6日に起きた北海道胆振東部地震を振り返り、各関係機関における課題等について協議及び意見交換を行った。

- ・開催日時：平成30年12月11日（火）14：30～
- ・開催場所：北海道胆振総合振興局A会議室
- ・参加対象機関：6市町、室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、薬剤師会室蘭支部、看護協会室蘭支部、21病院、透析実施診療所、胆振総合振興局保健環境部保健行政室（室蘭保健所）
- ・内容
 - 〈講演〉
「北海道胆振東部地震を振り返って～超急性期を中心に～」
（講師：市立室蘭総合病院麻酔科部長（救急センター長） 下舘勇樹先生）
 - 〈協議及び意見（情報）交換〉
北海道胆振東部地震での各関係機関等における課題等に係る協議及び意見（情報）交換について

2 協議（意見交換）事項

下記内容について協議（意見交換）を実施した。

- (1) EMIS対象医療機関における施設情報更新及び入院病床を運用していない医療機関の対応について
- (2) 登別市方面のCPA患者の救急受け入れについて
- (3) その他

【今後の方向性】

- 1 平成30年9月に策定の北海道医療計画西胆振地域推進方針5事業について、平成30年度における実績を踏まえた進捗状況を取りまとめ、次期開催の当部会において各委員の御意見をいただきながら、今後とも各医療体制の維持及び充実に向けて連携を図って行く。
- 2 管内各病院及び透析実施診療所における防災体制の状況調査において、災害拠点病院を除きその他医療機関において、EMISの入力を実施したことがなく、実施責任者も定めていない医療機関が半数あることから、北海道胆振東部地震を踏まえ、EMIS（広域災害救急医療情報システム）の重要性に鑑み、各関係医療機関を対象としたEMIS研修会の開催を検討する。